

# 環境行動計画

平成20年5月1日

## 環 境 方 針

成瀬電気工事株式会社 本社は、『誠実一路』の社是の基、全社一丸となつて、顧客と地域社会に高度で最新の技術をもって安心して快適な電気設備を提供する。』ことを方針とし、顧客の求める電気設備を施工提供します。

また、弊社の事業活動を進めていく中で、環境保護が重要課題の一つである事を認識し、地域貢献・自然との調和を図りながら進歩・発展していく事を目指します。このため、弊社は事業活動を行う上で環境負荷を削減するために、下記の取組を全社一丸となって推進します。

- 一、 エネルギー消費の削減（電力・燃料・ガソリンの削減に努める）
- 一、 資源の有効な利用（節水・紙使用量の削減）
- 一、 廃棄物の削減（リサイクル化に努める）
- 一、 体制の整備・教育研修（自らグリーン製品を使用し、その提案・普及に努める）

この方針に基づいて社員自ら自主的に環境保護活動に取り組むために、環境方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年5月1日

成瀬電気工事株式会社  
代表取締役 成瀬 亮太郎

## ■環境負荷の削減目標

10年に向けての環境負荷の削減目標は、次のとおりです（基準年は07年）

### (1) 目標1

CO<sub>2</sub>の総排出量を3%削減する

基準年度の総排出量  
120,430 (Kg-CO<sub>2</sub>)



目標年度の総排出量  
116,817 (Kg-CO<sub>2</sub>)

### (2) 目標2

一般廃棄物の排出量を3%削減する

基準年度の排出量  
13,700 (Kg)



目標年度の排出量  
13,300 (Kg)

### (3) 目標3

産業廃棄物の排出量を3%削減する

基準年度の排出量  
43,200 (Kg)



目標年度の排出量  
41,900 (Kg)

### (4) 目標4

紙の使用量を3%削減する

基準年度の使用量  
1,263 (Kg)



目標年度の使用量  
1,225 (Kg)

### (5) 目標5

水の使用量を3%削減する

基準年度の使用量  
749 (m<sup>3</sup>)



基準年度の使用量  
727 (m<sup>3</sup>)

## ■環境保護に向けた具体的な取組

### (1) 取組1

※CO<sub>2</sub>の総排出量の削減

- 1) 自動車のアイドリングの防止
- 2) 自動車の効率的な使用を行う（相乗り、走行ルートの検討）
- 3) 定期的に車両整備を行う
- 4) 燃費効率の良い車両導入の検討を行う
- 5) 効率の良い照明器具導入の検討を行う
- 6) 照明器具の点滅方法の検討を行い、使用しない部分での消灯を徹底する
- 7) PC、プリンター及びコピー機の節電機能を利用する
- 8) 空調温度の管理を行い適正環境での使用に努める

(2) 取組 2 及び取組 3

※一般及び産業廃棄物の排出量の削減

- 1) 廃棄物の分別及びリサイクルを呼びかける標語シールを掲示する
- 2) 資材購入の際に代理店等へ省力化及び無梱包を推奨する
- 3) 再利用可能な資材の検討を行う
- 4) 社内のごみ箱を削減し、社員への意識改革を教育する

(3) 取組 4

※紙の使用量の削減

- 1) プリンター及びコピー機周辺に紙の裏面使用を呼びかける標語シールを掲示する
- 2) コピー機に裏紙のトレイをセットする
- 3) 電子メール及び社内LANを活用しペーパーレス化に努める
- 4) 代理店及び協力業者へペーパーレス化を推奨する

(4) 取組 5

※水の使用量の削減

- 1) 節水装置導入の検討を行う
- 2) 漏水を定期的に点検する
- 3) 屋外の散水用ホースに手元コックを取り付ける
- 4) トイレ及び洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する

■環境行動計画の実施体制

代表責任者を中心とする環境保護チームを設け、半期（6月、12月）ごとに取組の目標状況と具体的な取組状況を把握し、継続的な改善に努めます

■組織図

環境保護チームは、下記メンバーにより構成され、チームを中心に環境方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知する

代表責任者	代表取締役
責任者	営業部長
運営委員	工事部長
運営委員	FM事業部長
運営委員	総務部長